

ヒットブランド の源泉

株式会社パトライト

株式会社パトライト 概要

本社所在地：大阪本社・大阪市中央区久太郎町 4-1-3

創業：昭和 22 年（1947 年）1 月

代表取締役社長：高野 尚登（Hisato Takano）

従業員数：単独：600 名、連結：1,050 名（2020 年 1 月現在）

製造品目：表示灯、回転灯、音／音声合成機器、散光式警光灯、サイレンアンプ、端子台、ペンダントスイッチなどの製造・開発・販売

H P：<https://www.patlite.co.jp/>

沿革：

- 1947年 大阪市阿倍野区に「ササ電機研究所」として創業
- 1955年 音響機器用直流「マイクロモータ」を開発
- 1963年 「株式会社佐々木電機製作所」を設立
- 1965年 回転警示灯（パトライト）1号機「SK-12型」を開発、販売
- 1977年 パトカー搭載の「散光式警光灯」を開発、販売
- 1982年 「積層式信号灯」を開発、販売
- 1984年 「音・音声合成機器」を開発・販売
- 1985年 緊急車両用の「電子サイレンアンプ」を開発、販売
- 1994年 株式会社パトライトに社名変更
兵庫県三田市に「三田工場」を設立
- 1996年 「ブーメラン型散光式警光灯」を開発、販売
- 1999年 PT.PATLITE INDONESIAを設立、生産を開始
- 2000年 大阪証券取引所市場第二部に上場
- 2001年 東京証券取引所市場第二部に上場
- 2005年 東京証券取引所市場第一部及び大阪証券取引所市場第一部に上場
- 2008年 上場を廃止
- 2013年 因幡電機産業株式会社のグループ傘下となる
- 2017年 春日電機株式会社と経営統合
- 2019年 東京本社を東京都品川区に開設

PATLITE®



大 阪市中央区に本社を置くのは株式会社パトライト様。会社名でもある同社の代表的商品「パトライト（回転警示灯）」は、パトカーや駐車場の出入り口など、電業界のみならず、一般の方も含め、誰でも必ず一度は見たことがある商品です。

近藤敦グロバルマーケティング部長
宮辻陽平グロバルマーケティング部 P
MM1 課課長、武上克巳グロバルマーケティング部グロバルマーケティング課課長の 3 氏にお話しいただきました。

（文中での敬称は略させていただきました。）



世界シェアNo.1 回転灯の代名詞「パトライト」

中…近藤 敦 グローバルマーケティング部長/左…宮辻陽平 グローバルマーケティング部PMM 1 課課長
右…武上克巳 グローバルマーケティング部グローバルマーコム課課長

国内シェア7割

編集部 御社の沿革を簡単に教えていただけませんか。

武上 1947年(昭和22年)

大阪市阿倍野区に「ササ電機研究所」を創業後、1955年(昭和30年)に業界に先駆けて高性能マイクロモータの開発に成功し、1965年(昭和40年)にこの自社製モータを使った回転警示灯(パトライト)の製造を開始したことに始まります。

そして、この「回転」技術を光・音とネットワークと融合させることで、様々な業界で活躍する多彩な表現方法を駆使した情報伝達手段としての製品・サービスを市場に提供し続けています。

編集部 御社のヒットブランドは当然、社名でもある「パトライト」ですよ。

近藤 その通りです。世界シェアNo.1のパトライトは今

や回転灯の代名詞のように認識されており、自動車や電気制御の業界では知らない人はいないと言っても良いくらいです。それほど「社名」イコール「製品名」の認知度は高いと思います。

編集部 日常生活の中で普通に

見られる製品ですね。

宮辻 55年前の開発当初は、車

の追突防止として使われていたのですが、その後、工場の設備用、緊急車両用、コンビニの警報用など、様々な用途で使われています。

近藤 何か起きた時に報知をす



るといのがパトライトの基本的な機能ですが、我々でも想定していなかった用途で使われることもありま。国内シェアも約7割ありますから、一般の方でも製品名は知らずとも、製品自体は必ず見たことがあるのではないのでしょうか。

編集部 製品名「パトライト」

の由来は。

近藤 そのままです。わかりやすいですよ（笑）。警察庁の厳しい品質基準をクリアし、パトカーに採用された「パト」と警告灯「ライト」を組み合わせた、高品質な商品の代名詞として命名しました。

「安心・安全・楽楽」を世界中にお届けする

編集部 なぜ、パトライトを手掛けられようと思われたのでしょうか。

武上 当社の企業理念であり、製品開発の根幹にあるのは「安心・安全・楽楽」です。パトカーの回転灯や工場の警告表示灯など情報表示機器メーカーとして、生活環境や生産現場での安全確保や効率化・省力化を実現するためのものづくりの進展を図って、世界中に安心と安全、楽楽を供給して

こうしています。その「安心・安全・楽楽」をカタチにしたものがパトライトなので

編集部 ブランドとして確立するまでは様々な困難があったかと思えます。これは大変だったというエピソードをご紹介いただけますか。

武上 「パトライト」が出来るまでには数々の困難を経験しています。昭和22年（1947年）に鑄造マグネツトを活用した画期的なラジオ用スピーカーを開発し、パトライトの前身である「ササ電機研究所」として創業しましたが、特許取得を失念したため、大手企業の価格競争に飲まれてしまいました。その結果、従業員25名の小さな町工場の経営は行き詰まり、昭和28年（1953年）に敢え無く倒産してしまいました。

しかし、昭和30年（1955年）に高性能な音響機器用直流精密小型モータ（マイクロ

モータ）の開発に成功し、大手家電メーカーの音響機器製品に採用となったことで復活しました。当時はポータブルプレイヤーやカーステレオが流行し始めた頃で需要は急増し、供給が追いつかないほどでした。昭和38年（1963年）に「佐々木電機製作所」と法人に改組しましたが、その頃大手家電メーカーも自社生産を開始したことから、価格が値下がりし、再び倒産の危機に追い込まれることとなりました。

1965年にパトライト1号機誕生
2020年、30年ぶりにモデルチェンジ

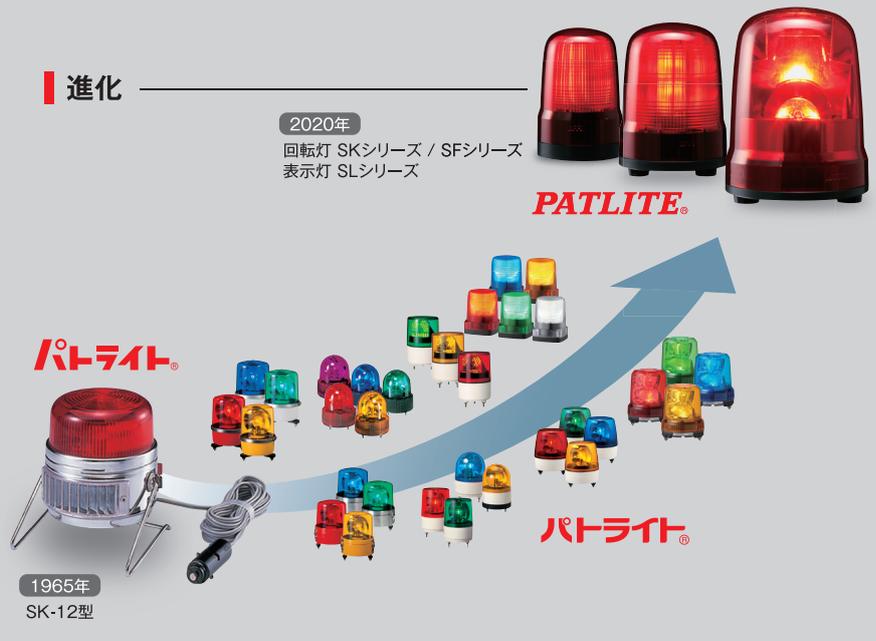
編集部 なるほど。その危機的状況はどのようにして乗り越えてこられたのでしょうか。

武上 昭和40年（1965年）に自社製モータを使った回転警告灯（パトライト1号機）SK・12型を開発・販

売し、新規開拓に乗り出しました。下請け仕事の過酷さ、悲哀をなめていたことから、下請けからの脱却を決意、昭和46年（1971年）に渡米し、パトカーの屋根についた最新式の横長型の回転灯にヒントを得て、翌年

編集部 現在、パトライトのラインナップはどれくらいあるのでしょうか。
宮辻 現状は23機種あります（2019年12月時点）が、2020年1月に完全モデルチェンジして3機種になります。初号機の発売から55年

進化



には開発に着手、昭和52年（1977年）に「散光式」と名付けて発売したところ、4年後に警察庁に採用、昭和60年（1985年）に長年続いた下請けからの脱却を果たしました。
 メーカーとして独自の技術を持ち、独自製品を開発したことにより、過去からの下請け体質から脱却、今のパトライトに繋がっています。
近藤 余談ですが、当時流行っていたテレビドラマ「西部警察」の車両にパトライトが採用されており、かなり話題となりました。

品質

さまざまな信頼性評価試験による、厳格な品質保証



温度試験



耐久試験



散水試験



X線検査

品質第一のものづくり

間開発を続けてきた集大成と言えるものです。

編集部 パトライトものづくりの特長というところ。

近藤 「品質第一」というのが創業時から変わらない当社ものづくりの特長です。もう一つはメーカー主導ではなく、お客様の声を良く聞

き、ご要望を製品に取り入れるということでしょうか。

武上 兵庫県三田市にある「三田工場」がパトライトのマザー工場として、国内外の市場ニーズに応える生産拠点の中心を担っており、開発本部と一体となって新技術・新製品を生み出しています。進化するセル生産を基軸にスピード化と多品種少量生産を実現しています。量産工場と

して、インドネシアのバタ
 ミンド島に「インドネシア工
 場」があり、安定した製品を
 低コストで一定生産をして
 います。これらも、当社もの
 づくりの特長と言えます。

なお、長野県辰野市の「辰
 野工場」では、主に端子台や
 ペンダントスイッチなどの
 旧春日電機製品を中心に生
 産しています。

◇
編集部 最後に、本誌読者の電
 材卸店様へのメッセージを
 お願いします。

近藤 パトライトの回転灯がこ
 こまで市場に浸透したのは、
 電材卸店様に絶えず流通し
 ていただいたことが大きい
 と考えています。

今回、30年ぶりにモデルチ
 エンジにしたパトライトの集
 大成と言える回転灯が誕生
 しましたので、是非ともご期
 待下さい。また、この新商品
 も電材卸店様のお力を借り
 て市場に浸透させていけた
 らと思います。

「三田工場の魅せる化」 大人気の工場見学会

三田工場では、2017年11
 月から自社製品の簡単IoTソ
 リューション機器で「AirGR
 D」WDシリーズを中心に生産
 ラインへ導入し、現場改善の成果
 を出すことに成功しています。

その活用事例と効果を「三田
 工場の魅せる化」というテーマで、
 2018年4月から工場見学を
 毎週水・木・金曜日の三日間開催し、
 2019年11月時点で686社・
 1,887名のお客様にご来社い
 ただいています。

また、2019年10月には東京
 本社に「IoTラボ」を開設しま
 した。JR大崎駅直結という好立
 地で、東日本の企業様において遠
 方の三田工場見学にご来社いた
 けなかつた方々を対象に、弊社の

簡単IoT機器を体験・体感でき
 るソリューション提案型のショ
 ルームです。

こちらも三田工場見学と同様に
 見学会を毎週水・金曜日2日間(完
 全予約制)で開催しており、おかげ
 さまですでに予約で3カ月待ちと
 いう状況です。



三田工場 (兵庫県三田市)



東京IoTラボ



三田工場の魅せる化

PATLITE®

すべてのシーンでベストな効果を発揮する

回転灯 表示灯の**完成形**

—パトライトの—

イチ推し!

ICHIOSHI

ご紹介



フルリニューアル!!



最高峰のクオリティで 多彩なニーズに対応

表示灯 **SL**

点灯・点滅・フラッシュの
シンプル報知

回転灯 **SK**

ブラシレスモータで
回転報知

モータレス
回転灯 **SF**

多彩な22種の
発光パターン

回転灯 SK series

モータレス 回転灯 SF series

表示灯 SL series



回転



回転

フラッシュ

サインカーブ



点灯

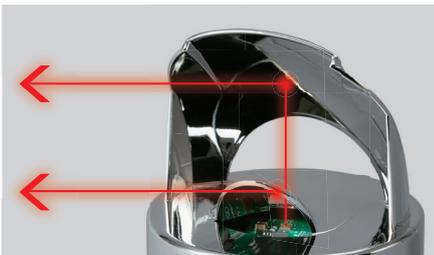
点滅

トリプルフラッシュ

特長

高視認性

新開発の高視認デュアルリフレクタ



次世代モータレス回転灯

抜群の視認性で完全メンテナンスフリー



マルチフレネルレンズ

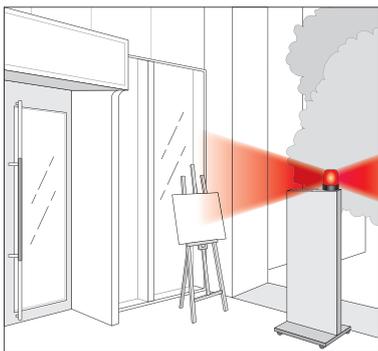
高視認性

全面発光で全方位に報知

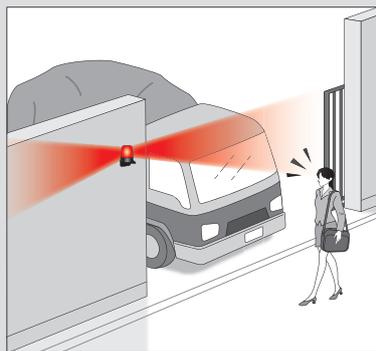


フレネルレンズ

アプリケーション



長期間使用できるので、高所取付でも安心。遠くからも視認できるので、集客に役立ちます。



タイマースイッチなどと連動させることで、減光が可能。半面回転なら店内側のみ消灯など、眩惑を防止できます。



緊急事態発生時に店外へ報知。軒先に天井取付できるので、遠くからも視認可能です。



コンフィグサイト

既存型式や製品仕様から、最適な新型回転灯・表示灯をご案内いたします。



◀ 型式検索

www.patlite.co.jp/beacon_config/



◀ 新旧型式置き換え

www.patlite.co.jp/beacon_replace/